

災害支援・教育復興にむけて

つなぐ



日教組災害対策本部

〒101-0003

東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

被災地を訪問して②



【2時46分をさす時計】

4月5日、宮城県の中学校を訪問した際の時計の時刻が2時46分。「東日本大震災」での地震の大きさがうかがえるものでした。

宮城県教組の齊藤委員長は「揺れている最中は、家具などをおさえるなどということとはできない状況でした。県教組の入っているビルにはテナントがたくさん入っているので、様子を見て回りましたが、倒れたロッカーの上を歩くこともありました。」と振り返っています。大地震が起こったとき・起こる前に教職員は、どのように対応することができるのかを考えていくことが大切であると感じました。



【教室のなかの様子】



【教室前の廊下の様子】

アルバムや位牌など、津波のなかに埋もれてしまっていたものが体育館に置かれていました（右写真）。被災された方が、何か残っていればと、写真などを探しておられました。

大切な方との思い出が詰まった写真などがみなさんの手元に届くことを強く願いました。

